

地下空間と色彩

—都市景観における色彩とは—

日時：2019年2月14日(木) 17:00～20:00 (受付開始 16:30)

場所：土木学会 講堂 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

パネリスト：吉田 慎悟 氏 色彩計画家・武蔵野美術大学 教授

モデレーター：須田 武憲 心理小委員会委員長(株式会社 GK 設計 代表取締役)

主催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会 (担当：心理小委員会)

※土木学会 CPD 認定プログラム (申請手続き中)



色彩は私達の周りにある景観を構成するすべての要素と関係している。また人間は700万とも800万とも言われる膨大な数の色彩を見分ける能力を持っている。色彩は私達が暮らす世界を美しく彩る。この魅力的な景色をつくる色彩とは一体何だろうか。そして、色彩は何故このように魅力的な振る舞いをするのだろうか。

今回のセミナーでは、まず自然界における色彩のあり方を考えてみたい。そして、人間は自然の色彩の在り方に学び都市の色彩をデザインしてきた。現在、堅牢で発色の良い顔料も多く開発され、高度に人工化された都市空間で人間は自由に色彩を使える技術を獲得したが、都市空間における色彩は永い時間を掛けて自然がデザインしてきた色彩のあり方と本質的には変わらないように見える。都市における色彩はどのようにデザインされているのか。そして地下空間は都市空間においても、極度に人工的な空間に見えるが、自然界がデザインしてきた色彩のあり方を知り、その展開方法を探ることによってさらに快適な地下空間が生まれるのではないだろうか。

プログラム

- 17:00～17:10 開会挨拶 心理小委員会委員長 須田 武憲 (株式会社 GK 設計 代表取締役)
- 17:10～18:40 「地下空間と色彩」
パネリスト：吉田 慎悟 氏 (色彩計画家・武蔵野美術大学 造形学部 教授)
- 18:40～18:50 休憩
- 18:50～19:50 全体討議 モデレーター：須田 武憲
- 19:50～20:00 閉会挨拶

パネリスト

吉田 慎悟 (よしだ しんご)

色彩計画家・武蔵野美術大学 造形学部 教授

カラープランニングコーポレーション・クリマ 代表取締役、カラープランニングセンター 相談役

武蔵野美術大学造形学部卒業後渡仏、著名なカラリスト、ジャン・フィリップ・ランクロ教授のアトリエで環境色彩計画を学ぶ。その後、日本各地の環境色彩調査を行い、地域色を活かした色彩計画を多く実践してきた。また、建築物等の色彩を数値で表す手法を開発し、国の景観法の色彩基準の基礎を考案した。現在カラープランニングコーポレーション・クリマ代表取締役、カラープランニングセンター相談役。武蔵野美術大学教授、九州大学、早稲田芸術学校等の講師を務める。

TDA景観デザイン支援機構理事、日本デザイン学会会員、都市環境デザイン会議会員、日本色彩学会会員、社団法人神奈川デザイン会員、武蔵野美術大学校友会監査役、中国流行色協会海外顧問

専門：色彩学、都市デザイン環境色彩計画、環境情報

主な著作：「環境色彩デザイン」CPC編集 美術出版社 (1984年)、「景観からのまちづくり」共著 学芸出版社 (1988年)、「都市と色彩」共著 洋泉社 (1994年)、「まちの色をつくる…環境色彩デザインの手法」建築資料研究社 (1998年)、「都市のデザイン…きわだつからおさまるへ」共著 学芸出版社 (2002年)、「カラーコーディネーションの実際」共著 東京商工会議所 (2003年)、「景観法を活用するための環境色彩計画」丸善 (2004年)、「カラーインライフ」共著 色彩学会編 朝倉書店 (2006年)

参加申込

定員： 80名 (参加には事前申込みが必要です。定員に達し次第締め切ります。)

申込方法： 土木学会ホームページ「本部主催行事の参加申込」よりお申込み下さい。

<http://www.jsce.or.jp/>

申込締切： 2019年2月7日 (木)

参加費： 無料

会場

公益社団法人土木学会 講堂

東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

JR線「四ツ谷」駅 四ツ谷口より徒歩3分

東京メトロ南北線「四ツ谷」駅 3番出口より徒歩3分

東京メトロ丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分

<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>

お問い合わせ先

主催： 公益社団法人土木学会

地下空間研究委員会 担当：心理小委員会

連絡先：公益社団法人土木学会

研究事業課 杉岡 清博

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

E-mail : sugioka@jsce.or.jp

